

令和5年度9月卒業式 学長告辞（夜の部）

9月になっても真夏日が続き、観測史上「最も暑かった夏」と称された今年の夏もようやく終わり、秋めいてきました。キャンパスの様々な木の葉も落ち始め、もうしばらくすると木々の葉も色付き、鮮やかな景色に変わっていくことでしょう。

大学院の修了を迎えられた皆さん、おめでとうございます。

また、今日まで皆さんを支えてこられたご家族、同僚や上司の皆様、指導に関わられた皆様も喜んでいらっしゃると思います。心からお祝いを申し上げます。

皆さんの新たな旅立ちにあたり、愛知教育大学を代表して、祝福の言葉を述べさせていただきます。

まず、附属学校の2名の先生方は、附属学校勤務の中、秋入学をご決断いただき、附属の教育・研究等をしながらの大学院での学びは大変だったことと思います。附属学校へは各教育委員会からの派遣ですので、派遣元の教育長の方々にも格別のご理解をいただきました。この2年間で学ばれたこと、培われた人間関係をもとに、派遣していただいた市はもちろん愛知の教育に貢献していただけることを期待しています。また、教員志願者が減り、教員不足が社会問題化しています。教育実習生や中学生が、先生方の姿を見て「教職の魅力」を感じることができるよう努めていただければと思います。

次に、教育実践高度化専攻教科指導重点コース造形・創造科学系を修了される2名の方は、様々な事情で修了が遅れました。

皆さんと一緒に入学した多くの人は、既に社会に出ている訳です。少し違った大学院生活を送ったことと思います。通常とは違う「修了」という人生の結び目を付けた訳です。ぜひ、このことをプラスと考え、活かしてほしいと思います。明日からの未来に向けて、自分らしく、自分ならではの人生を切り拓いてください。私たちは応援しています。

さて本学は、今年創基150周年を迎えました。1873年に名古屋市に開設された「愛知県養成学校」が本学の前身ですので、今年2023年で150年となります。そんな記念すべき年度に卒業・修了できることを幸運と思ってください。11月19日開催の記念式典まで2か月を切っています。現在、急ピッチで最後の仕上げをしている最中です。今後も日本の教員養成の中核大学としての役割を果たしていきたいと思います。その一つに、私が学長に就任して、キャッチフレーズとして「子どもの声が聞こえるキャンパス、地域から頼られる大学」を掲げ、令和3年3月に策定した本学の中長期ビジョン「未来共

創プラン」があります。現在、実行に移しているところです。卒業・修了後、それぞれの立場で協力いただきたいと思います。

最後に、本学での学びを礎に、健康に留意され、大きく羽ばたかれることを祈念いたしまして、卒業・修了にあたっての告辞といたします。

令和5年9月29日

愛知教育大学
学長 野田 敦 敬